

あなたも東京民研へ

2021年度研究員を募集

東京民研（東京の民主教育を進める教育研究会）は、東京都教職員組合（都教組）が、「東京の子どもたちをすこやかにしこく育てるために、教職員、研究者、父母の協力のもとに、憲法と1947教育基本法の条文に示された理念に基づき民主的な教育実践の創造と普及及び理論の研究をおこなう」ことを目的に設立したものです。

東京民研では、日常的な部会活動とともに、共同研究会、総括集会などを行っています。

これから、2021年度研究員を募集します。希望される方は都教組の各支部・地区協へ連絡してください。

国語

金田一淳子

「学べるので楽しい」と若者にも好評です。現場からのレポートで生き生きとした子どもの姿や作品に触れられるのも魅力です。教科書分析を通して「何を大切にしているのか」「何を大切にして授業を創っていくのか」「本物の読みの力や書く力は」等、深い論議で学べます。ぜひ、ご参加ください。

外国語

安野 寿美

オリンピックも民間試験導入も延期になりましたが、問題自体は繰り越されただけです。外国語部会は東京方式少人数習熟度別授業の課題など、私たちが日ごろ抱えている困難をどう乗り切っていくかを実践交流しています。コロナ禍でもできる授業を研究しましょう。

算数・数学

岩村 繁夫

算数の標準時数は175時間（2～6年）です。今年はコロナによる休業があり、部会では、各学年100時間プランを作成しました。結構楽しい作業でした。現在、部員（研究員）を募集中。一緒に活動しませんか。

理科

高鷹美恵子

来年度から中学校で使用する教科書について、自然科学の概念や法則をどう教えたなら生徒に正しく分かりやすく伝えられるか、学年の関係や分野の繋がりがなども視野に入れて、検討しています。

毎月第2木曜日、今年はZOOMで部会を開いています。ぜひ参加を。

美術

竹内 美弥

学校再開直後の緊張感の中、デッサンに鉛筆を走らせたり、気持ちの形にと静かに手を動かす子どもたちの姿から、美術表現のかけがえのない価値を改めて実感しました。集まるのが難しい時期ですが、子どもたちの作品・実践から学び合う部会です。どうぞご参加ください。

音楽

高田千津子

学校こそ豊かな文化の発信を
（音楽を通して）

音楽部会では、東京民研や教研で確かめられてきた教材を的確に子どもたちに手渡し豊かな授業を創り出すと共に、音楽科の特性を生かした教職員と協働した学校作りを進める努力を重ねています。

家庭科

谷内 香子

コロナ禍で実習を伴う家庭科の授業に多くの制約がかかり、子どもの権利も奪われている状況です。こんな時こそ、子どもからの生活からスタートする家庭科の学習の視点から、生活を見つめどうしたらいいのか考える授業の題材は結構ありそうです。皆さんで学び合いたいと思います。

保健体育

岩崎 明美

水泳で、みんながわかって教え合いながら泳げるようになる教え方を研究しています。今年度はできませんでしたが、できれば水泳教室を開催して学習したいと思っています。

一緒に学習してくださいの方、保健体育部会の研究員になってください。

生活科

高鷹 敦

新しい教科書に不満や疑問はありませんか？体験させたい内容は幼児教育と共通のものも多いのですが、今の生活科には低学年教育として必要な学習内容と方法が決定的に欠けています。教科書を検討しながら、各地の実践と交流し合い、より科学的な生活科を目指します。

学校保健

中川 真紀

保健室には毎日多くの子どもが訪れます。心や体の不調から居場所を求めて来る保健室で、私たち養護教諭は、子どもの言葉に耳を傾け、目線に立ち、ありのままを受け入れることから始めます。今、多様性が求められる学校保健。大いに交流し、議論しましょう。

進路指導

岩井 紀子

子どもの数は減っても日本の子どもたちの進む道の節々に受験・入試は待ち受けています。そのような中で、東京の中学・高校でどのような教育がすすめられようとしているのか。子どもがどのような状況に追い込まれ、人間的成長が阻まれているかを検討・交流しています。

障害児教育

山下 洋児

文科省の「新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議」で特別支援学級や通級指導の在り方についての議論をみると、批判的に検討する内容が多くあります。都教組障害児学級部と連携しながら、実践の検討を進めます。どうぞあなたも障害児教育部へ。

文化活動

山川 政志

コロナ禍で、子どもたちのまわりからヒューマンなふれあいやコミュニケーションの機会が奪われています。子どもたちの成長と発達が心配される今、学校や地域が育てる豊かな文化活動の創造について一緒に考え、研究や実践に取り組みませんか。

生活指導

林 生信

東京民研・生活指導部は、学級づくり（学級経営）を主要な実践として位置づけています。子どもたちの学校生活の中で起こる問題はもちろん、リーダーの発見や育て方（指導）など、学級づくりの様々な問題を追究しています。ぜひ、部会に参加を！。

職場の民主化

西田 昭司

人格の完成をめざす教育は、教職員が自由に意見が言えて、民主的に物事が決められる職場でなければ実現できません。そんな職場をどうつくっていくのか、どんな努力をしたらよいか、そんなことを研究しています。現場の方の参加を期待しています。

教育条件整備

亀井 雄一

私たちは、学校事務の仕事を通して、教育条件整備を進めるため、研究をしています。また、校内予算編成や給与実務研修を、ベテラン事務職員が講師となり、初心者ニーズに添えています。今年にはコロナ対策のため、特に予算面での情報交換をしています。

学校給食

宮鍋 和子

あんなに大嫌いだっただ野菜が、食べられるようになってしまふ「教室は魔法の空間」。新しい生活様式になっても、魔法をかけ続けるための手立てや、教育としての学校給食のありかたを探っていきませんか。あなたの思いを語りに来ませんか？参加お待ちしております。

地域・学校づくり

松本 恭子

コロナウィルス感染症のため、子どもたちを支える地域や学校の取り組み、ボランティアや教育懇談会（教育運動）などの活動が厳しい事態です。健やかに子どもたちが成長するための地域や学校での取り組みを学習・交流し、広げませんか。

平和教育

佐藤 康高

核兵器禁止条約が2021年1月発効、「核兵器の終わりの始まり」です。9条を世界に！「地球平和憲章（日本発モデル案）」が公表され、国連では「平和への権利宣言」が採択されています。平和への歴史的な動きを学び、平和学習の実践を考えていきます。

道徳（心の教育）

矢澤 正道

道徳教科書を乗り越えるために、どうしても自主編成・自主教材が必要です。まず、クラスの実態、課題にマッチしたもので、「人権」「平和」「民主主義」など普遍的な価値観、共通認識が内容になっていることが重要です。それらの実践交流を通して学び合いましょう。

ジェンダーと性の教育

天沼 文

毎月第4金曜日午後6時半からエデュカス東京で例会を行っています。日々の情勢を情報収集し、基本的人権の尊重に深くかかわるジェンダー視点から検討しています。コロナ禍だからこそ見えてきた「学校」があります。子どもが豊かに過ごせるように力を出したいです。

2020年度

東京民研総括集会

今年度は、コロナ禍のもと、経験したことのない長期休業と学校生活を送っています。社会的距離、マスク、手洗い、消毒、換気、三密を避けるなど取り組みは多岐にわたっています。絶対必要な少人数学級を、何としてでも実現させなければと思います。そのような中でも、私たちが追求してきたことを交流し、「コロナ前に戻る」だけでなく、その先を見すえていきたいです。そんな実践・研究をすすめるため、ぜひご参加ください。

日時 3月28日（日）10:00～16:30（予定）

会場 エデュカス東京5階B会議室

紹介文には掲載されていませんが、技術科部会、幼年教育部会、人権と教育部会、教育評価部会もあります。希望される方はご連絡ください